

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	国際幼児教育・保育従事者調査等			担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	幼児教育課		幼児教育課長 藤岡 謙一	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-			
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	その他の事項経費			
施策	13-2 国際協力の推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-42.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	OECDの実施する国際調査への参加等により、国際比較可能な基礎データを収集し、幼児教育に関する分析や我が国の幼児教育政策の立案に資する、重要な示唆を得ることを目指す。							
現状・課題 (5行程度以内)	OECDが実施している「国際幼児教育・保育従事者調査」へ第1期調査から継続的に参加・協力してきており、現在第2期調査に参加しているところである。我が国の幼児教育・保育に関する国際比較データを継続的に得て、我が国の幼児教育政策に活用するためには、国際機関における我が国のプレゼンスの維持・向上が必要である。							
事業概要 (5行程度以内)	OECDに設置されたECEC Network参加国会※への出席や幼児期の教育の質に関する国際比較調査への参加等を通じて、教職員の就業環境や指導状況等、幼児教育に関する国際比較可能な基礎データを収集し、政策立案に資する分析を行う。 ※ECEC:Early Childhood Education and care							
事業概要URL	国立教育政策研究所ホームページ⇒https://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenkyuu_center/oecd.html							
実施方法	直接実施、その他							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	11.3	11.3	11	11.7	15.4	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
	予備費等(E)	-	-	-	-			
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	11.3	11.3	11	11.7	15.4		
	執行額(G)		5.9	5.8	9.2			
	執行率(%) =(G)/(F)		52%	51%	84%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		52%	51%	84%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		国際交流・協力推進費		-			
	(目)		ユネスコ事業等拠出金	7				10
	(目)		委員等旅費	3				3
	(目)		職員旅費	2				2
	(目)		諸謝金	0.1				0.1
			その他	0				0
	計(A)		11.7	15.4				

活動内容① (アクティビティ)		OECDに設置されたECECNetwork参加国会合への出席や幼児期の教育の質に関する国際比較調査への参加								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		関連する参加国会合への出席	関連する参加国会合への出席回数	活動実績	回	1	2	2	-	-
				当初見込み	回	1	2	2	2	2
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業において得たデータを広く普及促進することで、我が国の幼児教育政策への活用に役立てる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		本事業において得られた調査結果が活用されるよう、広く普及促進を図る。	国立教育政策研究所HP内の「OECD国際幼児教育・保育従事者調査」ページ閲覧数	成果実績	件	-	9,915	5,066	-	
				目標値	件	-	10,000	9,915	5,066	
				達成度	%	-	99.2	51.1	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	調査結果利用者が増え、国際教育統計の重要性が高まり、今後も調査を実施するために分担金を拠出する。分担金を拠出することにより、国連関係機関での我が国の国際的なプレゼンスの向上にも寄与する。国際的なプレゼンスの維持向上を評価するため、全職員数に占める邦人職員数の割合を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		(1)②未来投資戦略に掲げた2025年までに国連関係機関の邦人職員数を1000人とする目標に向けた水準(3.1%(1,000人/国連関係機関職員総数約32,000人))を超えているところ、直近過去5年間の最高水準(4.64%、JPOを含む)を目標値とする。	全職員数に占める邦人職員数(専門職以上、JPOを含む)の割合	成果実績	%	4.3	3.9	3.7	-	
				目標値	%	4.6	4.6	4.6	-	
				達成度	%	93.5	84.8	80.4	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		外務省調べ。 ECEC事務局の邦人職員数を設定するのが望ましいが、本事業により拠出しているECEC Networkは、業務内容が限定的であり、職員数も限定されているため、邦人職員数を成果目標とすることは適当でないことから、ECECに限らずに全職員数に占める邦人職員数を目標とする。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								
		-								
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								

[illegible]

文部科学省
9. 2百万円

・職員旅費 1. 8百万円
・委員等旅費 1. 5百万円 を含む

OECDが実施する国際幼児教育・保育従事者調査等に参加し、調査に要する経費を拠出。

↓

〔拠出金〕
A. 経済協力開発機構(OECD)
5. 9百万円

〔国際幼児教育・保育従事者調査等を実施。〕

※令和4年度予算のレート(1ユーロ128円)で換算。拠出はユーロ(拠出月のレート)で行うため、予算と決算額の金額が異なる場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国際調査への任意拠出金	6			
計		6	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	経済協力開発機構(OECD)	-	国際幼児教育・保育従事者調査等の調査業務(拠出金)	6	その他	-	-	-